

工賃の向上やブランドの構築、新たな就労先の確保を目的に地域の特産品を栽培。地域の高齢農家から農地を積極的に借り入れ、荒廃農地の拡大防止に貢献。自社にて就労継続支援B型事業所を開設。

基本情報

- 所在地：長野県松川町
- 団体名：株式会社ウィズファーム
- 選定表彰：ノウフクアワード2020審査員特別賞「未来を耕すの部」、OMOTENASHI Selection(2021年度)、OMOTENASHI Selection(2022年度)
- 主力商品：果樹（りんご、ぶどう、桃）、にんにく、リンゴ加工品 etc.
- 取得認証等：認定農業者、ノウフクJAS



ノウフクリンゴ



りんごジュース

取組の概要

- 地域の高齢の農家などから農地を積極的に引き受けて、農業生産の規模を拡大するとともに、ノウフクJASの認証を初めて受けた事業者として、農福連携の認知度向上や販路拡大にも貢献。
- 自社農産物のPRのため、各地のイベントやマルシェへ参加するほか、高速道路のサービスエリアでの直売を実施。
- 株式会社ひだまり（就労継続支援A型事業所・B型事業所）から施設外就労として、また自社の就労継続支援B型事業所からも精神障害者、知的障害者及び身体障害者の計16名が農作業に従事。
- 工賃向上や販路開拓、農福連携のPRを目的に、令和元年11月に「ノウフク」JASの認証を取得。

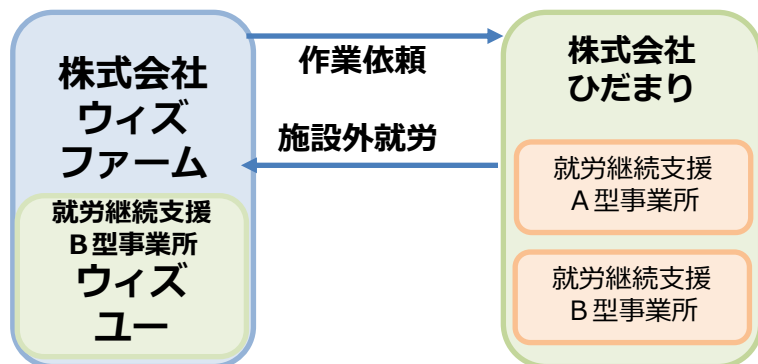


りんご園での作業



農福マルシェ

体制図



取組の成果

- 農作業を細分化して手作業を増やすことで、障害者がストレングスを活かした作業に従事できるため、継続して作業を行えるようになった。また、多くの障害者を受入れることが可能になった。
H29年度 5名 → R4年度 16名
- 長野県の平均工賃（16,930円）を上回る工賃（30,074円）を実現。
- 「ノウフク」JASの取得により、取引先が拡大。

所在地▶長野県下伊那郡松川町上片桐2164-1

連絡先▶TEL:070-4398-1237 E-mail : hara3005@gmail.com

ウェブサイト▶<https://withfarm.amebaownd.com>

【取組のプロセス】

平成23年

障害者の低工賃
荒廃農地の増加
地域活力の低下

きっかけ

就労継続支援A型・B型事業所の運営に携わる中で、工賃の向上やブランドの構築、新たな就労先の確保を目的に地域の特産品であるリンゴの栽培を検討

平成29年

通常の栽培方法は、
障害者が農作業を
行うのに向いてい
ない

株式会社ウィズファームの設立

- 農福連携の推進に当たって、長野県や松川町から農業法人の設立を進められ、平成29年2月に、株式会社ウィズファームを設立し、高齢のため離農する農業者から、約40aを借り受けりんご栽培を開始。

障害者が作業しやすい環境の構築

- りんごの木は低く仕立て、にんにくは畝間を広くすることで、障害者が農作業しやすい環境を整備。

令和4年

販路が少ない
農福連携の知名度
が低い

販路拡大の取組（ノウフクJASの取得、インターネットの利用）

- 農作業に従事する障害者のやりがい、工賃及び知名度の向上のため、令和元年11月に、ノウフクJASの認証を取得。
 - インターネットを利用し、農福産品の通信販売を行うとともに、YouTubeやメールマガジンで農福連携をPR。
- （耕作面積：平成29年40a → 令和5年 206a、就労する障害者の人数：平成29年5名 → 令和5年16名、令和5年度月平均工賃：30,074円）

令和5年

就労継続支援B型事業所・指定特定相談支援事業所の開設

- 農福連携の更なる発展のために、令和5年4月に就労継続支援B型事業所ウィズユーを、令和5年11月に指定特定相談支援事業所ウィズユーを開設。

今後の
展望

地域の担い手農業者として規模拡大

- 今後、地域の高齢農業者の離農等の増加することから、担い手としてそれらの農家から農地を借り受け規模を拡大を進め、地域農業の活性化の一翼を担いたい。



りんご園



にんにく畑



ノウフクJAS取得



youtubeチャンネル開設